平生町 高潮ハザードマップ

台風に備えて　佐賀地区

平生町ハザードマップはこちら

令和6年3月作成
平生町

台風が接近すると、気圧の低下や暴風の影響によって、海面が異常に上昇する高潮のおそれがあります。

令和4年5月、山口県は法律に基づき、我が国における既往最大規模の高潮が発生した場合に想定される「高潮浸水想定区域図」を作成公表しました。

この公表に基づき、町では高潮災害の危険がある区域を示すとともに、高潮が予想される際の避難に関する情報を示したハザードマップを作成しました。

ハザードマップの使い方

1. 高潮について知る。
2. ハザードマップ上で、自宅やよく行く場所、避難先の位置を確認する。
3. 自宅等や避難先までの、災害情報を確認する。
4. あなたがとるべき避難行動を考える。
5. マイ・タイムライン、我が家の防災メモに記入する。

我が家の防災メモ

我が家の避難先（親類宅・避難所など）

家族が離れ離れになった時の集合場所

家族の名前	血液型	会社・学校の連絡先	携帯電話番号

電話による安否確認や伝言

NTT災害用伝言ダイヤル（171）電話番号171

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により被災地への通話が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって、伝言の録音・再生を行ってください。

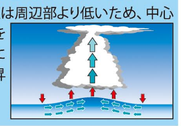
高潮について知っておこう

■高潮発生のメカニズムと潮位

台風や発達した低気圧が通過する際、海水面が大きく上昇することを高潮といい、「①気圧低下による海面の吸い上げ」と、「②風による吹き寄せ」が原因となります。

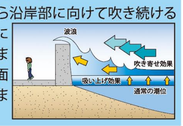
①気圧低下による海面の吸い上げ

台風の中心気圧は周辺部より低いため、中心部の大気は海面を吸い上げるように作用し、水面が上昇します。



②風による吹き寄せ

強い風が沖から沿岸部に向けて吹き続けると、風下の海岸に海水を吹き寄せます。このため、海面が異常に上昇します。



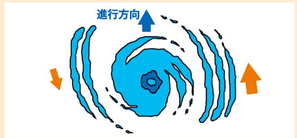
■高潮被害が発生しやすい条件

高潮は、**台風等の進路**や**潮位**、**周辺の地形**などによって影響を受けます。

●台風の進路

台風は、進行方向の右側で風が強くなります。

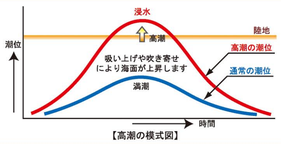
また、周防灘では、関門海峡が非常に狭くなっているため、強い東寄りの風によって吹き寄せられる海水が玄界灘に流出する量より大きくなると高潮が発生しやすい特徴があります。



●台風接近時の潮位

潮位の高い満潮時刻の前後数時間に台風が接近すると、高潮発生の危険性が高くなります。

特に、大潮（満月や新月）のときは、満潮時の潮位が高いため、より被害が発生しやすくなります。



【高潮の模式図】

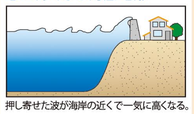
●周辺の地形

高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状により大きく異なります。次のようなところでは、特に高潮に対する注意が必要です。

周辺より低い土地

周辺より低い土地は浸水の危険性が高い。

急に深くなる海底地形



押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

河口のまわり

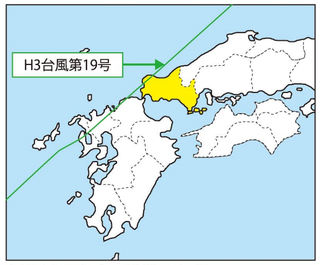
高潮の被害と河川の氾濫等、危険が重なる。

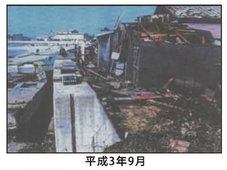
■過去の災害記録

山口県南方の周防灘は瀬戸内海で最も広い海域で、その沿岸は入り江や湾形の多い南向きの海岸であるため、高潮の影響を受けやすくなっています。

●平成3年　台風第19号

大型で非常に強い勢力を維持した台風第19号は、山口県付近への接近が大潮の満潮に重なり、周防灘沿岸で記録的な高潮となりました。平生町でも佐賀地区の沿岸で大きな被害が発生しました。





平成3年9月

下関地方気象台での観測記録

	年月日	最低気圧（hPa）	最大瞬間風速（m/s）
平成3年台風第19号	1991年9月27日	947.0	45.3

■高潮（台風）時の避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、特に災害発生のおそれがある場所にいる人は、早めの避難を心がけましょう。

●状況により、すばやく避難
避難情報等が発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

●車での避難は控えて
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。

●浸水時に長靴は厳禁
避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。

●家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。

●わが家の防災メモを持とう
住所・氏名・連絡先等を記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。

●集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

●非常持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

●安全なルートで避難
川べり、地下歩道等は避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

あなたがとるべき避難行動は？

自宅やよく行く場所は、ハザードマップで色が塗られていますか？（災害の危険はありますか？）

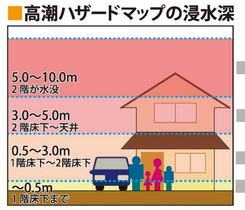
いいえ → 自宅等で安全を確保してください。なお、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、必要に応じて避難してください。

はい ↓

安全な場所への避難が必要です。
夜間に危険が予想される場合は、警戒レベルに関係なく、**明るいうち**に避難しましょう。

すでに浸水が始まっていたり、暴風雨で外に出ることが危険な時は
今いる建物の**上の階**へ
「垂直避難」

■高潮ハザードマップの浸水深



自宅以外の安全な場所へ
避　難
「水平避難（立退き避難）」

自宅等で安全確保
・浸水する深さより高いところにいる場合
・水・食料などの備えが十分にある場合

■警戒レベルととるべき行動

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動	発信者
5	緊急安全確保	既に災害が発生している、又は災害発生が切迫した状況です。命の危険がありますので、直ちに安全を確保してください。	平生町
～＜警戒レベル４までに必ず避難！＞～			
4	避難指示	災害発生のおそれが高まっています。全員、危険な場所から避難してください。	平生町
3	高齢者等避難	災害発生のおそれがあります。高齢者等の避難に時間を要する人は、危険な場所から避難してください。	平生町
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	気象状況が悪化しています。自らの避難行動を確認してください。	気象庁
1	早期注意情報	今後、気象状況が悪化するおそれがあります。災害への心構えを高めてください。	気象庁

※警戒レベルは低い順から出るとは限りません。いきなり「警戒レベル４」が発表されることもあります。

情報の入手先

■平生町の防災メール配信

平生町では、広報車の巡回のほか、様々な方法で防災情報を発信しています。

平生町防災メール（気象情報、防災情報が配信されます）

平生町では、防災に関する情報等を登録者の携帯電話等にメールで一斉配信するサービスを提供しています。

e-hirao@xpressmail.jp
に空メールを送り、説明に従って、登録してください。

空メール送付先

※携帯電話、パソコンなど、メールアドレスがあれば誰でも登録できます。
詳しくは、平生町ウェブサイトをご覧ください。

■インターネットから取得

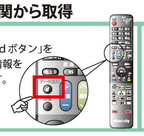
●平生町役場
- 平生町役場

●気象庁の情報
- あなたの街の防災情報
  「山口県平生町」を選択してください。
- 下関地方気象台

●山口県の情報
- 山口県高潮防災情報システム
- 山口県土木防災情報システム
- 防災やまぐち

■報道機関から取得

●テレビ
リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示できます。

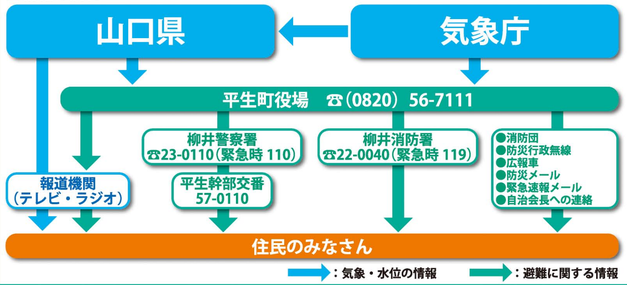


●ラジオ
【周波数】
NHK第１放送 675kHz
NHK FM放送 84.0MHz
FM山口 77.9MHz
エフエムKRY 92.3ＭＨｚ

■電話で確認

平生町総務課	(0820)56-7111
平生町建設課	(0820)56-7118
柳井警察署	(0820)23-0110
柳井地区広域消防本部	(0820)22-0040

■情報の流れ



マイ・タイムラインをつくろう

マイ・タイムラインとは、台風や低気圧の接近による高潮や洪水、土砂災害から身を守るため、みなさん一人ひとりの防災行動をあらかじめ時系列に整理するものです。自宅や家族の状況を考え、警戒レベルにあわせた行動を記入してみましょう。

気象状況	接近（早期注意情報の発表） → 台風接近の１日前 → 暴風域に入る数時間前※急に猛烈な雨や風になることも → 命の危険を感じるような風や大雨

●危険度が高まる時間帯→テレビや気象庁 HP で「早期注意情報」や「危険度を色分けした時系列」を確認

警戒レベルと状況	警戒レベル１ 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル２ 気象状況悪化	警戒レベル３ 災害のおそれあり	警戒レベル４ 災害のおそれ高い	警戒レベル５*2 災害発生又は切迫
避難情報等*1	早期注意情報（気象庁）※5日先までに警報級の現象が予想される時に発表	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	高齢者等避難（平生町）	避難指示（平生町）	緊急安全確保*2（平生町発令）
警戒レベル相当情報	□ 高潮		▶高潮注意報（高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報）	▶高潮警報、高潮特別警報	▶高潮氾濫発生情報*3
	□ 洪水等	▶氾濫注意情報	▶氾濫警戒情報 ▶洪水警報	▶氾濫危険情報	▶氾濫発生情報 ▶大雨特別警報（浸水害）
	□ 土砂災害		▶大雨警報（土砂災害）	▶土砂災害警戒情報	▶大雨特別警報（土砂災害）

警戒レベル４までに必ず避難！

※県は、高潮による氾濫の危険性を知らせるための「高潮特別警戒水位」を設定し、沿岸の水位が設定した水位に到達した場合には、「高潮氾濫発生情報」をお知らせします。

住民が取るべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	危険な場所から高齢者等は避難*4	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保！
行動を確認 あなたの行動をチェックボックスで確認しよう	□ 災害への心構えを高める □ テレビ・ラジオの天気予報に注意する □ 家族の予定を再確認 □ 屋外の安全確認 □ 非常持出品の準備 □ 備蓄品のチェック	□ ハザードマップなどで避難行動を確認 □ 満潮時間・潮位の把握 □ 安否確認方法の確認 □ 河川の情報等に注意 □ 危険地域に住む親類へ連絡 □ 携帯電話を充電	**次のような人は避難開始** □ 高齢者・障がいのある方・妊婦等 □ 自宅が高潮浸水想定区域内で自宅にとどまると危険な人 □ 土砂災害や洪水の危険がある人 □ 安全な避難場所が近くに無い人 □ 避難経路に危険な場所がある人 ※その他の人も普段の行動を見合わせたり、自主的に避難を開始	□ 危険な場所にいる人は、速やかに全員避難 □ 危険を感じたときは、少しでも安全な場所へ避難（頑丈な建物の上階等）	**自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保** □ 少しでも上階に移動する □ 崖から離れた部屋に移動するなど
あなたの行動を書き出してみよう					

＊1 避難情報等は警戒レベルの順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
＊2 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありません。
＊3 水位周知海岸において山口県知事から発表される情報。
＊4 高齢者以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難してください。

災害は、タイムラインに併せて起こるとは限りません。台風が発生したら、情報をこまめにチェックし、いつでも避難ができるようにしておきましょう。

■要配慮者への対応

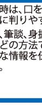
要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人などが該当します。地域で協力し合いながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

一人暮らしの高齢者
- 災害時、避難時には声をかける。
- 一緒に避難することを促す。

高齢者・病弱な方・体の不自由な方
- おぶって安全な場所まで移動。
- 複数の介助者で対応。
- 階段では２人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動。
- 介助者が１人の場合は、紐などを用意し、おぶって避難する。

目の不自由な方
- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れずひじの辺りを軽く持ってもらい、半歩手前をゆっくり歩く。

耳の不自由な方
- 話す時は、口をはっきりと開け、相手に判りやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で、正確な情報を伝える。



外国人
- 話す時はやさしい日本語で話しかける。
- 身振りや手振りで話しかけ、孤立させない。

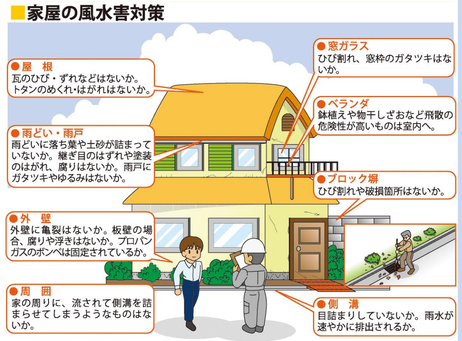
日頃から風水害に備えよう

■地域の自主防災組織の活動への参加

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域住民の連携により結成される防災組織のことです。

災害発生時にお互いの身を守るため、日頃から自主防災組織の防災訓練などの防災活動に参加しましょう。

■家屋の風水害対策



家庭でできる簡易水防

簡易水防は、浸水が浅い場合に簡易水のうやプランターなど身のまわりの物を使って浸水を防ぐ方法です。

簡易水のうの作り方

ゴミ袋に水を入れる。

ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れると固定しやすく強度も上がる。

簡易水防①
簡易水のう＋止水板

簡易水防②
プランター＋ビニールシート

■非常持出品　家族にあった持出品を書き出しておこう

□軍手・手袋　□携帯電話・充電器　□雨具　□懐中電灯
□ビニール袋

□貴重品・・・・・□現金（小銭）□健康保険証
□口座番号のコピー

□食料・・・・・・□飲料水　□食料（3日分）

□衛生用品・・・・□常備薬　□生理用品　□洗面用具

□感染予防・・・・□マスク　□体温計　□消毒液
□スリッパ

□衣料品・・・・・□下着　□くつした　□タオル

□赤ちゃん用品・・□ミルク　□紙おむつ　□おもちゃ

□高齢者用品・・・□持病薬　□お薬手帳　□紙おむつ

■備蓄品　（在宅避難に備えて）

飲料・・・飲料水（ひとり1日3リットル）

食料・・・□アルファ米
□缶詰類　□レトルト食品
□インスタントラーメン
□あめ

※保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく「ローリングストック」がおすすめです。

生活用品・・・□使い捨ての皿・コップ
□カセットコンロ・ボンベ
□ラップ
□アルミホイル

※準備したものに☑チェックを付けましょう。